

『平和記念都市ひろしま』上映&トーク

主催／広島市映像文化ライブラリー、広島市公文書館

■2025年7月2日(水) ①14:00～ ②18:00～ 入場無料

原爆投下から数年後に、広島市の街の様子や産業の再建を伝え、復興計画をアピールするために作られた記録映画『平和記念都市ひろしま』。貴重な歴史的資料として、広島市公文書館に所蔵されている複製フィルムの上映とトークイベントを行い、広島市の戦後復興期を振り返ります。

※『平和記念都市ひろしま』は8/6にも上映します。

14:00～の回上映後、トークがあります。(約30分)
ゲスト／西本雅実(元・中国新聞記者)

平和記念都市ひろしま

1950(昭和25)年 内外映画社 30分 白黒 35mm

監督／秋元憲 ナレーション／徳川夢声

広島市の復興支援を海外に求めるために製作され、1948(昭和23)年当時の風景や産業再建を紹介し、広島市平和記念都市建設法の衆院可決などを伝える記録映画。

『連鎖反応 ヒロシマユモレスク』朗読イベント

■2025年7月5日(土)15:00～

鑑賞料／大人380円、シニア(65歳以上)180円、25歳以下無料

被爆80周年を記念して、被爆の実相を伝える記録映画『広島・長崎 1945年8月』の上映に引き続いて、片岡一郎氏による『連鎖反応 ヒロシマユモレスク』の朗読イベントを行います。

ゲスト／片岡一郎(活動写真弁士)

上映作品

広島・長崎 1945年8月

1970年 アメリカ 18分 白黒 16mm 日本語版 監督／エリック・バーナウ

原爆投下直後に撮影された記録フィルムをもとに構成された作品。人体への影響に焦点をあてて、被爆の実相が伝えられる。



撮影／安達英莉

朗読『連鎖反応 ヒロシマユモレスク』

無声映画期に活動写真弁士として活躍後、戦後も漫談や俳優業や文筆業で才能を発揮した徳川夢声が1950年に発表した小説。原爆投下直後の広島市街をさまよい歩く鉄道職員を主人公に、被爆状況の悲惨さを物語り、原爆の犠牲者たちへの鎮魂のメッセージを込めている。広島に巡業中に丸山定夫らが被爆死した劇団櫻隊は、元々は徳川夢声が丸山定夫たちと立ち上げた劇団苦楽座を前身としており、夢声は櫻隊の原爆殉難碑を建立する活動にも尽力した。夢声はこの小説をユーモア小説として書いており、戦争をやめられない人類を皮肉な笑いで描写している。語りの名手であった夢声の小説を朗読で体験することで本作の奥行きが、より明らかになる。

プロフィール/片岡一郎(活動写真弁士)

2002年、澤登翠に入門。23か国で公演。約400作品の弁士を務める。『春の雪』、『ゆきてかへらぬ』、『BAUS』ほか『いだてん』『ブギウギ』などの作品に弁士役で出演。周防正行監督『カツベン!』では出演、指導、時代考証で参加。2020年に単著『活動写真弁士』を上梓。



徳川夢声『連鎖反応 ヒロシマユモレスク』
ユーモア小説全集・第6/東成社/1952年

裏面に7/12開催のディレクターズ・トークの案内があります。

広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(祝日は開館)、祝日の振替日、臨時休館(令和7年10月1日～)

